

條野採菊 ひょうのり 戯作者。天保二年九月一日江戸生れ、明治二十五年一月二十四日歿（八三二一死〇二）。諱孝茂、通稱傳兵衛、傳平。別號といきく山人、山之亭、山々亭有人、弄月、弄月亭、弄月亭主人、弄月亭閑人、弄月金、弄月閑人、採菊山人、採菊散人、採菊道人、朧月亭有人、朧月庵、東籬園、東籬園採菊、東籬亭主人、條野有人、筆胸微闕家の老人、菊廼舎、菊廼舎東籬、菊廼舎東籬、菊舎東籬、贊々亭等。若年五世川柳公入門。幕末將狂遊の一言で、假名垣哲文と戯作界を代表。明治五年同志の「東京日日新聞」を創刊して編輯主任とほり新聞人生活の、十九年「こやまと新聞」創刊と共に作家活動を再開した。日本畫家鍋木清方の實父。

著書 木味「字解漢語都々逸」(山々亭有人名、明治二年春・松林堂梓)、

童蒙「必讀漢語圖解」(弄月亭名、一萬齋畫圖、初一ニ合冊・明治二年壬丑)

復序・文鱗堂。再刊・秋・丁字屋平兵衛「丁字屋忠七版」、童解英語

圖會・初(弄月亭有人名、明治二年仲冬序・須原屋茂兵衛等九書林

發兌)、童蒙「廣漢語用文章」(條野孝茂名、明治五年一月藤岡屋慶治

郎板、松林堂梓)、「和洋奇人傳・初集」(同、明治五年二月清水平

主蔵板、二書房發兌)、「惣次郎春色江戸紫」(朧月亭有人名、補綴、

明治十六年五月香夢亭「香夢亭叢書」)、「殘花憶某櫻」(採菊散人

名、明治二十一年六月十六日金泉堂。ヤドルナブルツト原作)、同

雀小箱出木秋」(内題「雀小箱の出来秋」同、明治二十二年一月十

百白老堂)、「迷の夢」(内題「迷心の夢」同、

補綴、明治二十二年二月十四日出版部・金櫻堂)、

「折枝の梅が香」(同、明治二十二年三月二十七



白蕪志堂。ヤルノ一原作）、可歐洲『奇談夢地曉』（菊（廬）舎東籬名、明治

二十一年四月、二十日漫遊會）、可龍宮『龍宮開化設機關』（菊廬舎東籬名、

明治二十二年五月、二十日漫遊會）、可鴉『鴉の啄』（採菊散人名、明治二十

二年十一月、自由齋）、可泰曲『清話想夫戀』（竹葉散人、東籬園主人名、明

治二十五年、一月八日大阪・鍾美堂、競争屋發賣。改名再刊・春の家霞

城、東籬園主人、十月、二十日大阪・鍾美堂、競争屋發賣）、可古今『山説名

著集・武峽第四卷、可檀風物語・可柳『三味線』（東籬亭・菊廬舎東籬名、

山東京傳合著、明治二十五年六月五日、磯川出版會社）、可痘浪傳七郎

一、一名花の深山木』（採菊散人名、明治二十六年二月、二十日博文館）、

可復讐『裏見の刃』（同、明治二十九年二月五日、弘文館）、可近世『近世紀聞』

（條野有人名、染崎延房共著、大正十五年十月十八日、春陽堂）等。